



SL-23H,23,24H,24 Type Safety Valve (Curtain Area Restricted Type)

SL-23H,23、24H,24型 安全弁(揚程式) 製品記号

SL23H-G□(レバー付、呼び径65)
 SL23-B□(レバー付、呼び径80以上)
 SL24HB-G□(レバー無、呼び径65)
 SL24-B□(レバー無、呼び径80以上)
 ※□内には圧力区分の記号が入ります。

FC製 1.0MPa・フランジ形

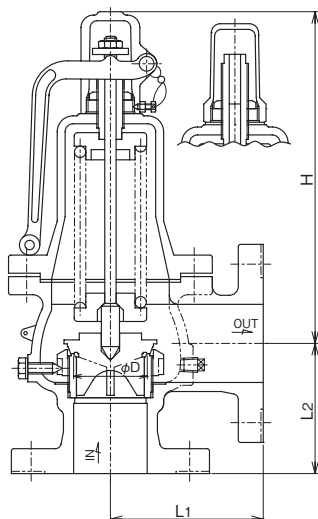


SL-23H型



SL-24H型

■構造図



注. 呼び径により構造が多少異なります。

■仕様

型式		SL-23H型	SL-23型	SL-24H型	SL-24型
製品記号		SL23H-G□	SL23-B□	SL24HB-G□ 注1.	SL24-B□
		※□内には圧力区分の記号が入ります。			
キャップ形式		レバー付		レバー無	
呼び径		65	80～150	65	80～150
適用流体		蒸気・空気		蒸気・空気・気体・(液体 注1.)	
流体温度		0～220℃		0～184℃ 注2.	
設定圧力範囲		0.035～1.0MPa			
端接続		JIS 10K FFフランジ 注3.			
材質	本体	FC			
	弁体	SCS	CAC 注4.	SCS	CAC 注4.
	弁座	呼び径100以下:SUS、呼び径125以上:CAC 注4.			
	本体耐圧性能	水圧にて1.5MPa			
取付姿勢		直立取付			

注1. 液体用、呼び径65は、製品記号がSL24HW-G□となります。

注2. 流体温度220℃以下も製作しています。

注3. 出入口のフランジはRFフランジも製作しています。

注4. 弁体・弁座SUS製はお問い合わせください。

■寸法表

(mm)

呼び径 d	弁座口の径 D	有効面積 (mm ²) π DL	リフト L	面間寸法		高さH		質量 (kg)	
				L ₁	L ₂	SL-23H,23型	SL-24H,24型	SL-23H,23型	SL-24H,24型
65	65	346.9	1.7	135	115	293	291	23	22
80	78.4	492.3	2.0	145	125	375	371	33	30
100	99.4	780.2	2.5	160	150	439	435	52	46
125	130 (125)	1347.0 (1256.0)	3.3 (3.2)	182	182	672	674	120	114
150	160 (150)	2009.6 (1789.8)	4.0 (3.8)	219	208	725	727	151	145

注. 呼び径125、150の()内寸法は、弁体・弁座SUSの場合

フランジ規格 JIS 10K FF

■圧力区分

(MPa)

記号	SL23H-G□,SL24HB-G□	SL24HW-G□	SL23-B□,SL24-B□
	呼び径65	呼び径65	呼び径80~100 呼び径125~150
1	0.035~0.15	0.035~0.07	0.035~0.15 0.035~0.07
2	0.15を超え0.6	0.07を超え0.15	0.15を超え0.4 0.07を超え0.1
3	0.6を超え1.0	0.15を超え0.3	0.4を超え0.7 0.1を超え0.3
4		0.3を超え0.6	0.7を超え1.0 0.3を超え0.5
5		0.6を超え1.0	
6			0.5を超え0.7 0.7を超え0.85
7			0.85を超え1.0

※□内には圧力区分の記号が入ります。

資料/JIS B8210-2025 安全弁 規格抜粋

■吹始め圧力

(1) 蒸気用の場合

蒸気用安全弁の吹始め圧力については、通常、規定しない。

(2) ガス用及び液体用の場合

吹始め圧力の許容差は、設定圧力に対して $\pm 5\%$ (最小 $\pm 0.025\text{MPa}$) とする。ただし、設定圧力を超えることの許されない場合の許容差は、+側を一側に加える。

なお、通常設定圧力には、吹始め圧力に対応した圧力をとる。

■吹出し圧力(ポッピング圧力)

(1) 蒸気用の場合

ボイラの安全弁の吹出し圧力の許容差は、表1による。
また、ボイラ以外の安全弁では、許容差は設定圧力の $\pm 3\%$ (最小値 $\pm 0.015\text{MPa}$) とする。ただし、設定圧力を超えることの許されない場合の許容差は、+側を一側に加える。

(2) ガス用及び液体用の場合

吹出し圧力の許容範囲は、吹始め圧力の1.1倍未満とする。また、吹出し圧力で設定する場合の許容差は、設定圧力の $\pm 3\%$ (最小値 $\pm 0.015\text{MPa}$) とする。

ただし、設定圧力を超えることの許されない場合の許容差は、+側を一側に加える。

■吹下り

(1) 蒸気用の場合

蒸気用安全弁の吹下りは、設定圧力と吹止り圧力との差とする。ただし、実測した吹出し圧力と吹止り圧力から、吹下りを定めることができる。吹下りの許容差は表2による。また、貫流ボイラ、再熱器、配管などに使用する蒸気用安全弁の吹出し圧力が 0.3MPa (ゲージ圧) を超える場合の吹下りは、設定圧力の10%以下とすることができる。

(2) ガス用の場合

ガス用の吹下りは、設定圧力と吹止り圧力との差とする。ただし、実測した吹出し圧力又は吹始め圧力と、吹止り圧力から、吹下りを定めることができる。吹下りの許容差は、表3による。

注. JIS B8210のご指定のない限り、当社の吹下り基準によります。

(3) 液体用の場合

液体用安全弁の吹下り圧力は通常、規定しない。

表1 蒸気用安全弁の吹出し圧力の許容差

設定圧力 MPa (ゲージ圧)	許容差 MPa
0.5未満	± 0.015
0.5以上2.3未満	$\pm$ (設定圧力の3%)
2.3以上7.0未満	± 0.07

表2 蒸気用安全弁の吹下りの許容差

設定圧力 MPa (ゲージ圧)	吹下り MPa
0.4以下	0.03
0.4を超えるもの	設定圧力の7%以下 (4%以下)

注記. 受渡当事者間の協定によって括弧内の数字とすることができる。

表3 ガス用安全弁の吹下り

設定圧力 MPa (ゲージ圧)	吹下り MPa	
	メタルシート形	ソフトシート形
0.2以下	0.03以下	0.05以下
0.2を超えるもの	設定圧力の15%以下	設定圧力の25%以下

注. JIS B8210のご指定のない限り、当社の吹下り基準によります。

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

1. 压力容器構造規格

(イ) 蒸気用 (JIS B8210-2025の式による)

$$Q_m = 5.25 C' K_{dr}' A P_0$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：のど部の径 (mm)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

C'：蒸気の性質による係数 (146頁表1参照)

飽和蒸気の場合は、下表による。

吹出し量決定圧力の絶対圧力P (MPa・A)	蒸気の性質による係数C'
0.5以下	1*
0.5を超え1.0以下	0.98*
1.0を超え2.0以下	0.97*
2.0を超え	0.96*

過熱蒸気の場合は、146頁表1による。

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

$$\text{全量式：} 0.777$$

(ロ) ガス用 (JIS B8210-2025の式による)

$$Q_m = C'' K_{dr} P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m：公称吹出し量 (kg/h)

A：吹出し面積 (mm²) 揚程式：A = πDL

$$\text{全量式：} A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D：弁座口の径 (mm)

L：リフト (mm)

d：のど部の径 (mm)

Z：圧縮係数：1*

T₀：吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

P₀：吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

P_b：背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C''：断熱指数 (κ) による係数 (147頁式による)

κ：断熱 (等エントロピ) 指数 (147頁表4参照)

断熱 (等エントロピ) 指数 (κ) が不明の場合はκ=1.001としてC''=23.96

K_{dr}'：公称降格吹出し係数 揚程式：0.864*

$$\text{全量式：} 0.777$$

K_b：亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (148頁式による)

M：ガスの分子量 (147頁表4参照)

■流入する気体の最大量の算定：「流入する気体の最大量」は、次の算式による。

$$G = 0.0028 u \rho d^2$$

G：気体の送込量 (kg/h)

u：気体の流速 (m/sec)

(飽和蒸気にあつては20以上、過熱蒸気にあつては30以上、一般気体にあつては10以上とする。)

ρ：気体の密度 (kg/m³)

d：管の内径 (mm)

(ハ) 水・温水用 (温度が120℃を超える場合も適用)

(1) 弁の所要吹出し量から求める場合

$$S = \frac{W}{87.7 \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(2) 压力容器の熱入力又は温水ボイラーの熱出力から求める場合

$$S = \frac{Q \varepsilon}{87.7 C \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(上式(1),(2)において(P₁+0.1)κが(P₁+0.1)κ>(P₁-P₂)となる場合は、(P₁+0.1)κを(P₁-P₂)に置き代えて計算する。)

S：吹出し面積 (mm²)

W：弁の所要吹出し量 (kg/h)

P₁：吹出し量決定圧力 (MPa) 注。

揚程式：設定圧力×1.1

ただし、SL-37~40,43,44型は、124頁参照

全量式：設定圧力×1.15又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

レリーフ弁(E・ED型)：設定圧力×1.25又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

P₂：弁の出口側圧力 (MPa)

κ：修正係数 (148頁図1参照)

Δt：吹出し量決定圧力P₁の飽和温度と弁の入口側温水温度との差 (℃)

γ₁：弁の入口側温水の密度 (kg/L) (146頁表2参照)

Q：压力容器の熱入力又は温水ボイラーの熱出力 (kJ/h)

ε：水の体膨張係数 (1/℃) (147頁表3参照)

C：水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (147頁表3参照)

注. 全量式及びレリーフ弁の場合、P₁(吹出し量決定圧力)が「压力容器又は温水ボイラーの最高使用圧力×1.1(又は最高使用圧力+0.034)」を超えないことを確認してください。

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

2. ボイラー構造規格

(イ) 蒸気用 (JIS B8210-2025の式による)

$$Q_m = 5.25 C' K_{dr}' A P_0$$

Q_m : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm²) 揚程式: $A = \pi D L$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

L : リフト (mm)

d : のど部の径 (mm)

P_0 : 吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.03+0.101)又は(設定圧力+0.015+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

C' : 蒸気の性質による係数 (146頁表1参照)

飽和蒸気の場合は、下表による。

吹出し量決定圧力の絶対圧力P (MPa・A)	蒸気の性質による係数C'
0.5以下	1*
0.5を超え1.0以下	0.98*
1.0を超え2.0以下	0.97*
2.0を超え	0.96*

過熱蒸気の場合は、146頁表1による。

K_{dr}' : 公称降格吹出し係数 揚程式: 0.864*

全量式: 0.777

(ロ) 温水用 (温度が120℃以下の場合に適用する)
(温水が120℃を超える場合は(イ)蒸気用を用いる)

(1) 弁の所要吹出し量から求める場合

$$S = \frac{W}{87.7 \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(2) 圧力容器の熱入力又は温水ボイラーの熱出力から求める場合

$$S = \frac{Q \varepsilon}{87.7 C \sqrt{(P_1 + 0.1) \kappa \gamma_1}}$$

(上式(1),(2)において $(P_1 + 0.1) \kappa$ が $(P_1 + 0.1) \kappa > (P_1 - P_2)$ と
なる場合は、 $(P_1 + 0.1) \kappa$ を $(P_1 - P_2)$ に置き代えて計算する。)

S : 吹出し面積 (mm²)

W : 弁の所要吹出し量 (kg/h)

注. 全量式及びレリーフ弁の場合、 P_1 (吹出し量決定圧力) が「圧力容器又は温水ボイラーの最高使用圧力×1.1 (又は最高使用圧力+0.034)」を超えないことを確認してください。

P_1 : 吹出し量決定圧力 (MPa)

揚程式: 設定圧力×1.1

ただし、SL-37~40,43,44型は、124頁参照

全量式: 設定圧力×1.15又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

レリーフ弁(E・ED型): 設定圧力×1.25又は設定圧力+0.034のいずれか大きい方の値をとる。

P_2 : 弁の出口側圧力 (MPa)

κ : 修正係数 (148頁図1参照)

Δt : 吹出し量決定圧力 P_1 の飽和温度と弁の入口側温水温度との差 (℃)

γ_1 : 弁入口側の温水の密度 (kg/L) (146頁表2参照)

Q : 温水ボイラーの熱出力 (kJ/h)

ε : 水の体膨張係数 (1/℃) (147頁表3参照)

C : 水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (147頁表3参照)

■備考

温水の温度が120℃を超える温水ボイラーには安全弁を備えなければならない。その算式は $Q_m = 5.25 C' K_{dr}' A P_0$ となる。

この場合の安全弁の所要吹出し量 W (kg/h)は次式によって求められる。

$$W = \frac{Q}{h_1 - h_2}$$

W : 安全弁の所要吹出し量 (kg/h)

Q : 温水ボイラーの熱出力 (kJ/h)

h_1 : ボイラーの最高使用圧力に相当する飽和蒸気の比エンタルピ (kJ/kg)

h_2 : 給水の比エンタルピ (kJ/kg)

$$W = \frac{Q \varepsilon}{C}$$

ε : 水の体膨張係数 (1/℃) (147頁表3参照)

C : 水の定圧比熱 (kJ/kg℃) (147頁表3参照)

(ハ) ダウサムボイラー用 (JIS B8210-2025の式による)

$$Q_m = C'' K_{dr}'' P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm²) 揚程式: $A = \pi D L$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

L : リフト (mm)

d : のど部の径 (mm)

Z : 圧縮係数: 1*

T_0 : 吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度(K)

P_0 : 吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

P_b : 背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C'' : 断熱指数 (κ) による係数 (147頁式による)

κ : 断熱 (等エントロピ) 指数 (147頁表4参照)

断熱 (等エントロピ) 指数 (κ) が不明の場合は $\kappa = 1.001$ として $C'' = 23.96$

K_{dr}'' : 公称降格吹出し係数 揚程式: 0.864*

全量式: 0.777

K_b : 亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (148頁式による)

M : ガスの分子量 (147頁表4参照)

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算式に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

3. JIS B8210-2025安全弁

4. 電気事業法(発電用火力設備に関する技術基準)

(イ) 蒸気用 (JIS B8210-2025の式による)

$$Q_m = 5.25 C' K_{dr}' A P_0$$

Q_m : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm²) 揚程式: $A = \pi D L$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

L : リフト (mm)

d : のど部の径 (mm)

P₀ : 吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

ボイラ用: (設定圧力×1.03+0.101)又は(設定圧力+0.015+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

圧力容器用: (設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

C' : 蒸気の性質による係数 (146頁表1参照)

飽和蒸気の場合は、下表による。

吹出し量決定圧力の絶対圧力P (MPa・A)	蒸気の性質による係数C'
0.5以下	1※
0.5を超え1.0以下	0.98※
1.0を超え2.0以下	0.97※
2.0を超え	0.96※

過熱蒸気の場合は、146頁表1による。

K_{dr}' : 公称降格吹出し係数 揚程式: 0.864※

$$\text{全量式: } 0.777$$

(ロ) ガス用 (JIS B8210-2025の式による)

$$Q_m = C'' K_{dr}' P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m : 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm²) 揚程式: $A = \pi D L$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

L : リフト (mm)

d : のど部の径 (mm)

Z : 圧縮係数: 1※

T₀ : 吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

P₀ : 吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101)又は(設定圧力+0.020+0.101)のいずれか大きい方の値をとる。

P_b : 背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C'' : 断熱指数 (κ) による係数 (147頁式による)

κ : 断熱 (等エントロピ) 指数 (147頁表4参照)

断熱 (等エントロピ) 指数 (κ) が不明の場合は κ = 1.001 として C'' = 23.96

K_{dr}' : 公称降格吹出し係数 揚程式: 0.864※

$$\text{全量式: } 0.777$$

K_b : 亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (148頁式による)

M : ガスの分子量 (147頁表4参照)

5. 高圧ガス保安法(液化石油ガス保安規則、一般高圧ガス保安規則)

(i) κ に対応する P₂/P₁ の値が148頁表7に示す P₂/P₁ の値以下の場合

$$W = C K P_1 A \sqrt{\frac{M}{Z T}}$$

(ii) κ に対応する P₂/P₁ の値が148頁表7に示す P₂/P₁ の値を超える場合

$$W = 5580 K P_1 A \sqrt{\frac{\kappa}{\kappa-1} \left\{ \left(\frac{P_2}{P_1} \right)^{\frac{2}{\kappa}} - \left(\frac{P_2}{P_1} \right)^{\frac{\kappa+1}{\kappa}} \right\} \sqrt{\frac{M}{Z T}}}$$

W : 規定吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (cm²) 揚程式: $A = \pi D L$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi}{4} d^2$$

D : 弁座口の径 (cm)

L : リフト (cm)

d : のど部の径 (cm)

P₁ : 吹出し量決定圧力 (MPa・A)

(設定圧力 (許容圧力) × 1.1 の絶対圧力)

P₂ : 大気圧を含む背圧 (MPa・A)

C : 144頁表7に示す κ に対する数値

κ : 断熱 (等エントロピ) 指数

不明の場合: 1.01

M : ガスの分子量 (147頁表4参照)

T : 吹出し量決定圧力におけるガスの温度 (K)

K : 吹出し係数 揚程式: 0.87

$$\text{全量式: } 0.777$$

Z : 圧縮係数: 1※

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

各計算に代入する係数は、法規中にある数値のほか、社内数値(※)の場合もありますのでご注意ください。

※印：社内数値

6. ガス事業法(ガス工作物技術基準)

(JIS B8210-2025の式による)

■ガス発生設備、ガス精製設備、ガスホルダー及び附帯設備(液化ガス用貯槽及び冷凍設備を除く)、液化ガス用貯槽に適用。

$$Q_m = C'' K_{dr} P_0 A K_b \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

Q_m: 公称吹出し量 (kg/h)

A : 吹出し面積 (mm²) 揚程式: $A = \pi D L$

$$\text{全量式: } A = \frac{\pi d^2}{4}$$

D : 弁座口の径 (mm)

L : リフト (mm)

d : のど部の径 (mm)

Z : 圧縮係数: 1※

T₀ : 吹出し量決定圧力におけるガスの絶対温度 (K)

P₀ : 吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

(設定圧力×1.1+0.101) 又は (設定圧力+0.020+0.101) のいずれか大きい方の値

P_b : 背圧の絶対圧力 (MPa・A)

C'' : 断熱指数 (κ) による係数 (147頁式による)

κ : 断熱 (等エントロピ) 指数 (147頁表4参照)

断熱 (等エントロピ) 指数 (κ) が不明の場合は κ = 1.001 とし

C'' = 23.96

K_{dr}: 公称降格吹出し係数 揚程式: 0.864※

全量式: 0.777

K_b : 亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (148頁式による)

M : ガスの分子量 (147頁表4参照)

7. 社内基準(水・温水を除く液体用)

$$W = 161 \times A K \sqrt{P G}$$

W : 吹出し量 (kg/h)

A : 開口面積 (mm²)

揚程式: $A = \pi D L$

$$\text{全量式: } A = 0.785 d^2$$

L : リフト (mm)

D : 弁座口の径 (mm)

dt : のど部の径 (mm)

G : 入口温度における比重

P : 容量決定圧力 (MPa)

K : 流量係数

揚程式: 上ガイド式 0.55

羽根足 0.45 / (型式、アキュムレーションにより異なります。)

全量式: 0.60

表1. 蒸気の性質による係数C'

(JIS B8210-2025)

温度 (°C)	飽和 温度	200	220	240	260	280	300	320	340	360	380	400	420	440	460
0.1	1.000	0.985	0.963	0.944	0.925	0.907	0.891	0.875	0.860	0.845	0.832	0.819	0.806	0.794	0.783
0.2	1.000	0.987	0.965	0.945	0.926	0.909	0.892	0.876	0.861	0.846	0.832	0.819	0.807	0.795	0.783
0.3	1.000	0.989	0.967	0.947	0.928	0.910	0.893	0.877	0.861	0.847	0.833	0.820	0.807	0.795	0.784
0.4	1.000	0.992	0.969	0.949	0.929	0.911	0.894	0.878	0.862	0.847	0.834	0.820	0.808	0.796	0.784
0.5	1.004	0.994	0.971	0.950	0.931	0.912	0.895	0.879	0.863	0.848	0.834	0.821	0.808	0.796	0.784
1.0	0.986	0.980	0.982	0.960	0.938	0.919	0.900	0.883	0.867	0.852	0.837	0.824	0.810	0.798	0.786
1.5	0.976	0.975	0.969	0.969	0.946	0.925	0.906	0.888	0.871	0.855	0.843	0.826	0.813	0.800	0.788
2.0	0.971		0.966	0.963	0.955	0.932	0.912	0.893	0.875	0.859	0.844	0.829	0.815	0.802	0.790
2.5	0.968			0.960	0.965	0.940	0.918	0.898	0.880	0.863	0.847	0.832	0.818	0.805	0.792
3.0	0.966			0.961	0.956	0.948	0.925	0.904	0.884	0.867	0.850	0.835	0.821	0.807	0.794
4.0	0.964				0.957	0.953	0.939	0.915	0.895	0.875	0.857	0.841	0.826	0.811	0.798
5.0	0.965					0.955	0.952	0.929	0.905	0.884	0.865	0.847	0.831	0.816	0.802
6.0	0.968					0.962	0.953	0.943	0.917	0.893	0.873	0.854	0.837	0.821	0.807
7.0	0.971						0.959	0.954	0.930	0.904	0.881	0.861	0.843	0.826	0.811
8.0	0.975						0.968	0.956	0.944	0.915	0.890	0.869	0.849	0.832	0.816
9.0	0.980							0.963	0.960	0.927	0.900	0.877	0.856	0.837	0.820
10.0	0.987							0.972	0.962	0.941	0.911	0.885	0.863	0.843	0.825
12.0	1.000								0.977	0.973	0.935	0.904	0.878	0.856	0.836
14.0	1.019									1.005	0.982	0.964	0.926	0.896	0.848
16.0	1.039										1.005	1.001	0.952	0.916	0.861
18.0	1.068											1.044	1.007	0.977	0.933
20.0	1.100												1.036	1.011	0.958

表2. 温水の密度γ₁ (kg/L) (ボイラー構造規格の解説より)

絶対圧力 (MPa・A)	0.1	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	2.2	2.5
40	0.992	0.992	0.992	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993	0.993
50	0.988	0.988	0.988	0.988	0.988	0.988	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989	0.989
60	0.983	0.983	0.983	0.983	0.983	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984	0.984
70	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.978	0.979	0.979	0.979
80	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.972	0.973	0.973	0.973
90	0.965	0.965	0.965	0.965	0.965	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966	0.966
100		0.958	0.958	0.958	0.958	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959	0.959
110		0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.951	0.952	0.952	0.952
120		0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.943	0.944	0.944	0.944	0.944	0.944
130			0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.935	0.936	0.936
140			0.926	0.926	0.926	0.926	0.926	0.926	0.927	0.927	0.927	0.927	0.927
150				0.917	0.917	0.917	0.917	0.917	0.917	0.918	0.918	0.918	0.918
160					0.907	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908	0.908
170					0.897	0.897	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898	0.898
180						0.887	0.887	0.887	0.887	0.888	0.888	0.888	0.888
190							0.876	0.876	0.876	0.876	0.877	0.877	0.877
200								0.865	0.865	0.865	0.865	0.865	0.865
210									0.853	0.853	0.853	0.853	0.853
220													0.841

備考 この表の中間の値は比例法によって計算する。

注. 40℃未満: 1

備考 圧力・温度が中間値の場合は、比例法によらず、絶対圧力・温度区分の最小値とする。

例. 公称吹出し量決定圧力(絶対圧力)=1.2MPa・A、温度230℃の場合、C'=0.960

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

表3. 温水の定圧比熱C及び体膨張係数ε
(ボイラー構造規格の解説より)

温度 ℃	定圧比熱C kJ/kg℃	体膨張係数ε 1/℃
40℃未満	4.150	0.00039
40	4.179	0.00039
50	4.181	0.00046
60	4.185	0.00053
70	4.190	0.00060
80	4.197	0.00066
90	4.205	0.00072
100	4.216	0.00079
110	4.229	0.00085
120	4.245	0.00090
130	4.263	0.00097
140	4.285	0.00103
150	4.310	0.00110
160	4.339	0.00118
170	4.371	0.00126
180	4.408	0.00134
190	4.449	0.00145
200	4.497	0.00155
210	4.551	0.00165
220	4.613	0.00179

備考 この表の中間の値は比例法によって計算する。

表4. ガスの性質

(JIS B8210-2025)

ガス名称	化学式	分子量M (kg/kmol)	断熱(等エントロピ)指数κ (0.1013MPa, 15℃)	臨界圧力 Pc (MPa)	臨界温度Tc (K)	臨界圧力比
アセチレン	C ₂ H ₂	26.02	1.26	6.282	309.15	0.553
空気	—	28.96	1.40	3.769	132.45	0.528
アンモニア	NH ₃	17.03	1.31	11.298	405.55	0.544
アルゴン	A (又はAr)	39.91	1.66	4.864	151.15	0.488
ノルマルブタン	C ₄ H ₁₀	58.08	1.11	3.648	426.15	0.583
二酸化炭素	CO ₂	44.00	1.30	7.397	304.25	0.546
一酸化炭素	CO	28.00	1.40	3.546	134.15	0.528
塩素	Cl ₂	70.91	1.35	7.711	417.15	0.537
クロロフルオロメタン (R22)	CHClF ₂	86.47	1.18	4.914	370.15	0.568
エタン	C ₂ H ₆	30.05	1.22	4.945	305.25	0.561
エチレン	C ₂ H ₄	28.03	1.25	5.157	282.85	0.555
水素	H ₂	2.015	1.41	1.297	33.25	0.527
塩化水素	HCl	36.46	1.41	8.268	324.55	0.527
硫化水素	H ₂ S	34.08	1.32	9.008	373.55	0.542
イソブタン	CH (CH ₃) ₃	58.08	1.11	3.749	407.15	0.583
メタン	CH ₄	16.03	1.31	4.641	190.65	0.544
塩化メチル	CH ₃ Cl	50.48	1.28	6.647	416.25	0.549
窒素	N ₂	28.02	1.40	3.394	126.05	0.528
亜酸化窒素	N ₂ O	44.02	1.30	7.265	309.65	0.546
酸素	O ₂	32.00	1.40	5.036	154.35	0.528
プロパン	C ₃ H ₈	44.06	1.13	4.357	368.75	0.578
プロピレン	C ₃ H ₆	42.05	1.15	4.660	365.45	0.574
二酸化硫黄	SO ₂	64.07	1.29	7.873	430.35	0.548
水蒸気	H ₂ O	18.02	—	22.064	647.10	—

断熱指数(κ)による係数(C'')

算定式

$$C'' = 39.48 \sqrt{\kappa \left(\frac{2}{\kappa + 1} \right)^{\frac{\kappa + 1}{\kappa - 1}}} \quad \kappa : \text{断熱(等エントロピ)指数(表4参照)}$$

表5. 断熱(等エントロピ)指数(κ)による係数(C'') (参考)

(JIS B8210-2009)

K	C''	K	C''	K	C''	K	C''	K	C''	K	C''
0.41	16.65	0.71	20.96	1.01	24.04	1.31	26.41	1.61	28.34	1.91	29.96
0.42	16.82	0.72	21.08	1.02	24.12	1.32	26.49	1.62	28.40	1.92	30.01
0.43	17.00	0.73	21.20	1.03	24.21	1.33	26.56	1.63	28.46	1.93	30.06
0.44	17.17	0.74	21.31	1.04	24.30	1.34	26.63	1.64	28.52	1.94	30.10
0.45	17.33	0.75	21.43	1.05	24.39	1.35	26.69	1.65	28.58	1.95	30.15
0.46	17.50	0.76	21.54	1.06	24.47	1.36	26.76	1.66	28.63	1.96	30.20
0.47	17.66	0.77	21.65	1.07	24.56	1.37	26.83	1.67	28.69	1.97	30.25
0.48	17.82	0.78	21.76	1.08	24.64	1.38	26.90	1.68	28.74	1.98	30.30
0.49	17.98	0.79	21.87	1.09	24.72	1.39	26.97	1.69	28.80	1.99	30.34
0.50	18.13	0.80	21.98	1.10	24.81	1.40	27.03	1.70	28.86	2.00	30.39
0.51	18.29	0.81	22.09	1.11	24.89	1.41	27.10	1.71	28.91	2.01	30.44
0.52	18.44	0.82	22.19	1.12	24.97	1.42	27.17	1.72	28.97	2.02	30.49
0.53	18.58	0.83	22.30	1.13	25.05	1.43	27.23	1.73	29.02	2.03	30.53
0.54	18.73	0.84	22.40	1.14	25.13	1.44	27.30	1.74	29.08	2.04	30.58
0.55	18.88	0.85	22.51	1.15	25.21	1.45	27.36	1.75	29.13	2.05	30.63
0.56	19.02	0.86	22.61	1.16	25.29	1.46	27.43	1.76	29.18	2.06	30.67
0.57	19.16	0.87	22.71	1.17	25.37	1.47	27.49	1.77	29.24	2.07	30.72
0.58	19.30	0.88	22.81	1.18	25.45	1.48	27.55	1.78	29.29	2.08	30.76
0.59	19.44	0.89	22.91	1.19	25.53	1.49	27.62	1.79	29.34	2.09	30.81
0.60	19.57	0.90	23.01	1.20	25.60	1.50	27.68	1.80	29.40	2.10	30.85
0.61	19.71	0.91	23.11	1.21	25.68	1.51	27.74	1.81	29.45	2.11	30.90
0.62	19.84	0.92	23.20	1.22	25.76	1.52	27.80	1.82	29.50	2.12	30.94
0.63	19.97	0.93	23.30	1.23	25.83	1.53	27.86	1.83	29.55	2.13	30.99
0.64	20.10	0.94	23.39	1.24	25.91	1.54	27.93	1.84	29.60	2.14	31.03
0.65	20.23	0.95	23.49	1.25	25.98	1.55	27.99	1.85	29.65	2.15	31.07
0.66	20.35	0.96	23.58	1.26	26.05	1.56	28.05	1.86	29.71	2.16	31.12
0.67	20.48	0.97	23.67	1.27	26.13	1.57	28.11	1.87	29.76	2.17	31.16
0.68	20.60	0.98	23.76	1.28	26.20	1.58	28.17	1.88	29.81	2.18	31.21
0.69	20.72	0.99	23.86	1.29	26.27	1.59	28.23	1.89	29.86	2.19	31.25
0.70	20.84	1.001	23.95	1.30	26.34	1.60	28.29	1.90	29.91	2.20	31.29

備考 この表の中間の値は補間法によって計算する。

資料/適用法規及び吹出し容量計算式

亜臨界流れに対する理論流量補正係数 (K_b)

算定式

$$\frac{P_b}{P_0} > \left(\frac{2}{\kappa+1}\right)^{\frac{\kappa}{\kappa-1}} \text{ の場合: } K_b = \frac{55.83}{C''} \sqrt{\frac{\kappa}{(\kappa-1)}} \left[\left(\frac{P_b}{P_0}\right)^{\frac{2}{\kappa}} - \left(\frac{P_b}{P_0}\right)^{\frac{\kappa+1}{\kappa}} \right]$$

$$\frac{P_b}{P_0} \leq \left(\frac{2}{\kappa+1}\right)^{\frac{\kappa}{\kappa-1}} \text{ の場合: } K_b = 1$$

P_0 : 吹出し量決定圧力の絶対圧力 (MPa・A)

P_b : 背圧の絶対圧力 (MPa・A)

表6. 背圧補正係数 (K_b) 〈参考〉

(JIS B8210-2009)

P_2/P_1	断熱(等エントロピ)指数 (κ)												
	1.001	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2	2.1	2.2
0.50									1.00	1.00	0.99	0.99	0.99
0.52								1.00	0.99	0.99	0.99	0.99	0.98
0.54							1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.98	0.98
0.56					1.00	1.00	0.99	0.99	0.98	0.98	0.98	0.97	0.97
0.58				1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96
0.60			1.00	0.99	0.99	0.98	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94
0.62		1.00	0.99	0.99	0.98	0.97	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93
0.64	1.00	0.99	0.99	0.98	0.97	0.96	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93	0.92	0.92
0.66	0.99	0.98	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93	0.92	0.91	0.91	0.90
0.68	0.98	0.98	0.97	0.96	0.95	0.94	0.93	0.92	0.91	0.90	0.90	0.89	0.88
0.70	0.97	0.96	0.95	0.94	0.93	0.92	0.91	0.90	0.89	0.89	0.88	0.87	0.86
0.72	0.96	0.95	0.94	0.93	0.91	0.90	0.89	0.88	0.87	0.87	0.86	0.85	0.84
0.74	0.95	0.93	0.92	0.91	0.89	0.88	0.87	0.86	0.85	0.84	0.84	0.83	0.82
0.76	0.93	0.91	0.90	0.88	0.87	0.86	0.85	0.84	0.83	0.82	0.81	0.80	0.80
0.78	0.91	0.89	0.87	0.86	0.85	0.83	0.82	0.81	0.80	0.79	0.78	0.78	0.77
0.80	0.88	0.86	0.85	0.83	0.82	0.81	0.79	0.78	0.77	0.76	0.76	0.75	0.74
0.82	0.85	0.83	0.82	0.80	0.79	0.77	0.76	0.75	0.74	0.73	0.72	0.71	0.71
0.84	0.82	0.80	0.78	0.77	0.75	0.74	0.73	0.72	0.71	0.70	0.69	0.68	0.67
0.86	0.78	0.76	0.74	0.73	0.71	0.70	0.69	0.68	0.67	0.66	0.65	0.64	0.63
0.88	0.73	0.71	0.70	0.68	0.67	0.66	0.64	0.63	0.62	0.61	0.61	0.60	0.59
0.90	0.68	0.66	0.65	0.63	0.62	0.60	0.59	0.58	0.57	0.57	0.56	0.55	0.54

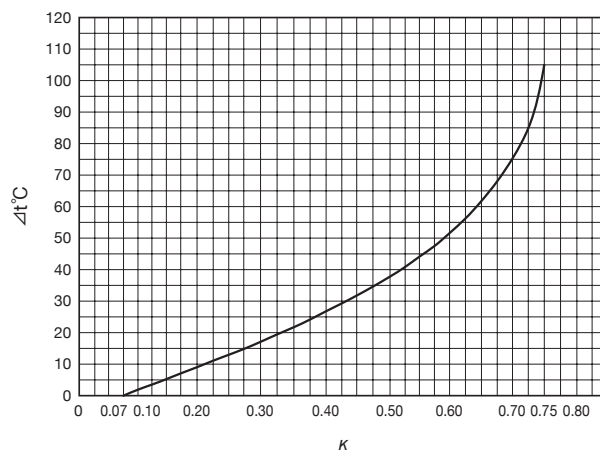
備考 この表の中間の値は補間法によって計算する。

表7. κ に対する数値C (高压ガス保安法に適用)

κ	C	P_2/P_1	κ	C	P_2/P_1
1.00	2380	0.606	1.40	2700	0.528
1.02	2410	0.602	1.42	2710	0.525
1.04	2420	0.597	1.44	2720	0.522
1.06	2440	0.593	1.46	2730	0.518
1.08	2460	0.588	1.48	2750	0.515
1.10	2480	0.584	1.50	2760	0.512
1.12	2490	0.580	1.52	2770	0.509
1.14	2500	0.576	1.54	2790	0.505
1.16	2520	0.571	1.56	2800	0.502
1.18	2540	0.567	1.58	2810	0.499
1.20	2550	0.563	1.60	2820	0.496
1.22	2570	0.559	1.62	2830	0.493
1.24	2590	0.556	1.64	2850	0.490
1.26	2600	0.552	1.66	2860	0.488
1.28	2620	0.549	1.68	2870	0.485
1.30	2630	0.545	1.70	2880	0.482
1.32	2650	0.542	1.80	2940	0.468
1.34	2660	0.538	1.90	2980	0.456
1.36	2680	0.535	2.00	3030	0.444
1.38	2690	0.531	2.20	3130	0.422

(注) κ が中間の値をとるときは補間法により値を求めその値は、Cの場合小数点以下は切捨て、 P_2/P_1 の場合は小数点以下4桁目以下は切捨てる。

図1. $\Delta t^\circ\text{C}$ に対する修正係数 κ (ボイラー構造規格の解説より)



資料/安全弁、逃し弁設置上のポイント

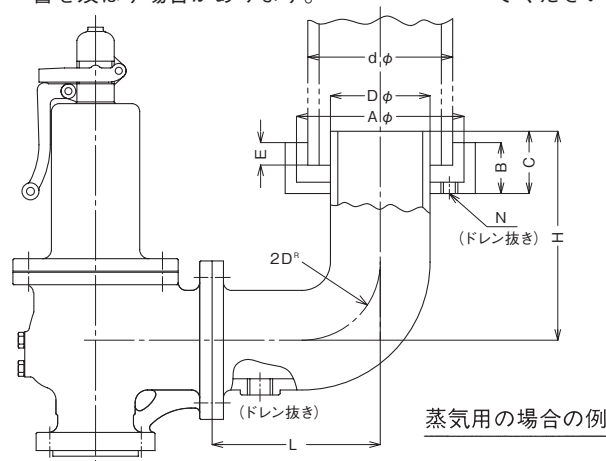
注意 設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

1. 設置上の注意

- 安全弁は直立に取り付けてください。
取付の際は、器内のスケール、塵埃などを除去し、ガスケット当り面を清掃してください。
- 安全弁取付台の内径は、安全弁入口径以上とし、取付台の全長はできるだけ短くし、圧力損失を小さくします。
- 安全弁取付台は、安全弁の吹出しによる反動力を受けますので、この反動力による圧縮、せん断、曲げ応力に対し十分な強度、剛性をもたせてください。
- 吹出し管の内径は、安全弁出口径よりできるだけ大きくし、その長さをできる限り短い距離で、かつ曲りを避け、屋外又は安全な場所へ導くようにし、これを適当に支えて安全弁に不当な応力(熱応力を含む)が生じないようにしてください。
この吹出し管の吹出し場所は、吹出し時の事故防止のため、次の事項も考慮してください。
 - 吹出し時の爆音・爆風の影響がある場所を避ける。
特に通行場所、立入場所を避ける。
 - 流体が蒸気・水の場合、湿気や水を嫌う電気機器、機械器具などの設置場所を避ける。
 - 流体が有害ガスの場合、腐食・有毒・酸欠などの状況になる場所を避ける。
 - ねじ込形の安全弁、逃し弁の出口側吹出し管には弁の分解を容易にするため、直近にユニオン継手を使用してください。(次頁図1参照)

- 吹出し管には、ドレン抜きなどを設け、液体の滞留を防止してください。
ただし、ドレンが発生しない場合や、液体が安全弁の出口側に侵入するのを防止するための保護、又は出口配管を備えている場合はその限りではありません。
- 全量式安全弁で背圧調整用コックが付いている場合は、必ず出口吹出し管に配管してください。(次頁図3参照)
なお、コックの開度は調整された状態で出荷されますので、開度は変更しないでください。
コックの開度を変えた場合、作動に影響を及ぼす場合があります。

- 装置や吹出し管などの熱膨張による安全弁への不当な影響を防ぐためには、下図のように弁の出口に適当な膨張継手を設け、その先に吹出し管を取り付けます。また安全弁の軸心から吹出し管の中心迄の距離は、反動力を制限するために、できるだけ小さくとり曲管の半径は $2D$ (D は曲管の内径)以上にしてください。参考までに安全弁の吹出し管の標準寸法を記します。
- レバー付(開放型)の場合、作動時上部のキャップ部からも流体が吹出しますので設置場所に当たっては十分考慮してください。(次頁図5参照)



■吹出し管参考寸法

(mm)

出口側の径	D	d	(A)	B	C	E	L	H	N
40	40	65	130	60	80	30	130	220	Rc $\frac{3}{8}$
(50)	50	80	150	60	90	40	150	230	Rc $\frac{1}{2}$
65	65	100	200	60	100	40	180	270	Rc $\frac{1}{2}$
80	80	125	200	70	120	50	200	310	Rc $\frac{1}{2}$
100	100	150	250	70	140	60	250	370	Rc $\frac{3}{4}$
125	125	200	300	80	160	70	300	430	Rc 1
150	150	200	300	80	180	70	350	500	Rc 1
200	200	250	380	100	220	80	450	610	Rc 1

2. 保守及び取扱い上の注意

- 安全弁の取付けに際しては振動、腐食などによってその機能が阻害される恐れのある場所を避け、外部から衝撃などを与えないでください。
- 安全弁取付け後テストレバーにより弁を作動させる時は、装置の圧力が弁吹出し圧力の75%以上に達した状態で作動させてください。
- 装置の常用運転圧力は、安全弁吹止り圧力の90%を超えないように又、脈

- 動のある場合には、80~85%を超えないように計画時考慮してください。
- 装置の水圧試験を行う場合は、できるだけ安全弁を外して行ってください。安全弁を取り付けて行う場合は次の事項を厳守してください。(次頁図4参照)
 - ① 不当な荷重で弁を損傷しないよう装置の圧力が弁吹出し圧力の80~90%に上昇した後に「テストガグ※」を取付け、弁棒の先端を軽く押えてくだ

さい。この際「テストガグ※」は必ず手で回してください。スパナなどで回すと過大な押付力が加えられ弁座を損傷したり、弁棒が曲がったりして作動不良の原因となります。

- ② 水圧試験が終了し、装置の圧力が弁吹出し圧力の80~90%に下がったならばただちに「テストガグ※」を外してください。

※テストガグは注文仕様になります。

資料/安全弁、逃し弁設置上のポイント



注意

設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

■配管例図

図1. 圧力タンク取付例略図

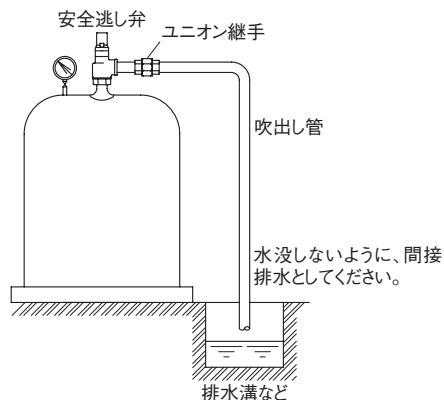


図2. 減圧弁二次側設置例略図

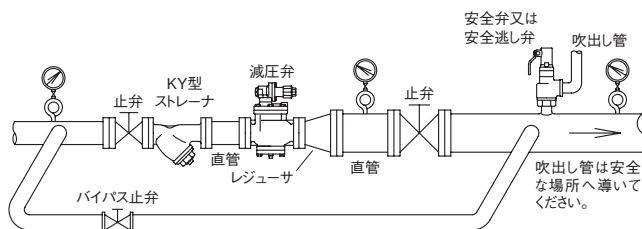


図3. 背圧調整用コック配管例略図

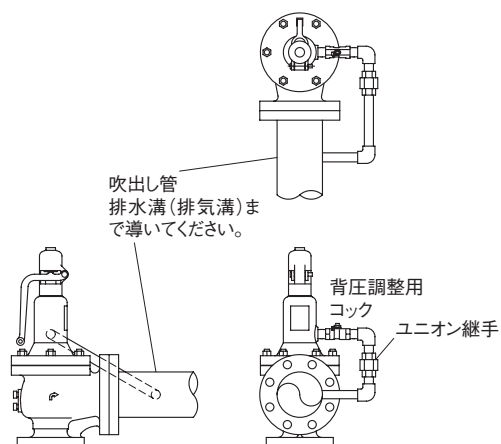


図4. テストガグ取付略図

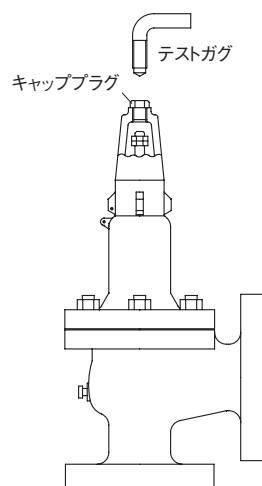
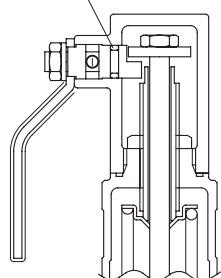


図5. レバー構造略図

SL-37,39,39F,43型レバー構造

空気・気体・液体の場合

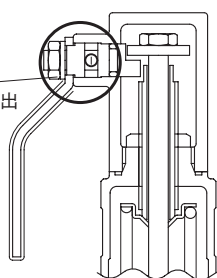
リングシールにより、密閉レバー構造



蒸気の場合

リングのシール性低下により、開放レバー構造としてお取扱ください。

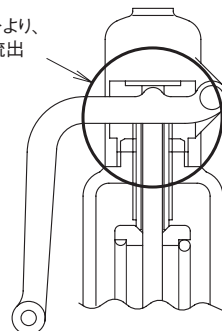
この部分から、作動時蒸気が流出



一般の開放レバー構造

作動時、流体が外部に流出

この部分より、流体が流出



吹出し容量表 (圧力容器構造規格)

《空気用》

■全量式

$$Q_m = C'' K_{dr} P_o A K_0 \sqrt{\frac{M}{Z T_0}}$$

$C'' = 27.03, K_{dr} = 0.777, M = 28.96, Z = 1, T_0 = 293$ $P_o = (\text{設定圧力} \times 1.1 + 0.101) \text{ 又は } (\text{設定圧力} + 0.02 + 0.101) \text{ のうち大きい方}$

型式	設定圧力 MPa		呼径 (mm)																			(kg/h)												
	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1		2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0			
SF-1H, 2H型	20	15	176.6	257	374	502	630	759	887	1010	1140	1270	1400	1520	1650	1780	1910	2040	2170															
	25	19	283.3	413	600	806	1010	1210	1420	1620	1830	2040	2240	2450	2650	2860	3060	3270	3480															
	40	30	706.5	1030	1490	2010	2520	3030	3550	4060	4570	5080	5600	6110	6620	7140	7650	8160	8680															
	50	38	1133.5	1650	2400	3220	4040	4870	5690	6510	7340	8160	8980	9810	10600	11400	12200	13100	13900															
	15	11	94.9	138	201	270	338	407	476	545	614	683	752	821	890	959	1020	1090	1160	1230	1300	1370	1440	1510	1570	1640	1710	1780	1850	1920	1990	2060	2130	
SF-19, 20型	20	15	176.6	257	374	502	630	759	887	1010	1140	1270	1400	1520	1650	1780	1910	2040	2170	2290	2420	2550	2680	2810	2930	3060	3190	3320	3450	3580	3700	3830	3960	
	25	19	283.3	413	600	806	1010	1210	1420	1620	1830	2040	2240	2450	2650	2860	3060	3270	3480	3680	3890	4090	4300	4500	4710	4920	5120	5330	5530	5740	5950	6150	6360	
SF-13, 14型	25	19	283.3	413	600	806	1010	1210	1420	1620	1830	2040	2240																					
	40	30	706.5	1030	1490	2010	2520	3030	3550	4060	4570	5080	5600	6110	6620	7140	7650	8160	8680	9190	9700	10200	10700	11200	11700	12200	12700	13200	13800	14300	14800	15300	15800	
SF-16型 (0.1~1MPa)	34	907.4	1320	1920	2580	3220	3900	4550	5210	5870	6530	7190	7850	8510	9170	9830	10400	11000	11600	12200	12800	13400	14000	14600	15100	15700	16400	17000	17700	18300	19000	19700	20300	
	50	38	1133.5	1650	2400	3220	4040	4870	5690	6510	7340	8160	8980	9810	10600	11400	12200	13100	13900	14700	15500	16300	17200	18000	18800	19600	20500	21300	22100	22900	23800	24600	25400	
SF-17, 18型 (1~2MPa)	65	49	1884.7	2750	3990	5360	6730	8100	9470	10800	12200	13500	14900	16300	17600	19000	20400	21700	23100	24500	25800	27200	28600	30000	31300	32700	34100	35400	36800	38200	39500	40900	42300	
	80	55	2374.6	3460	5030	6750	8480	10200	11900	13600	15300	17100	18800	20500	22200	24000	25700	27400	29100	30800	32600	34300	36000	37800	39500	41200	42900	44600	46400	48100	49800	51600	53300	
SF-19, 20型 (1~2MPa)	61	2920.9	4260	6190	8310	10400	12500	14600	16700	18800	20900	23000	25200	27400	29700	31600	33700	35800	38000	40100	42200	44300	46400	48600	50700	52800	54900	57100	59200	61300	63400	65500	67600	69700
	100	69	3737.3	5450	7920	10600	13300	16000	18700	21400	24200	26900	29600	32300	35000	37700	40400	43200	45900	48600	51300	54000	56700	59400	62200	64900	67600	70300	73000	75700	78400	81200	83900	
SF-19, 20型 (2~3MPa)	100	76	4534.1	6610	9610	12900	16100	19400	22700	26000	29300	32600	35900	39200	42500	45800	49100	52400	55700	59000	62300	65500	68800	72100	75400	78700	82000	85300	88600	91900	95200	98500	101800	
	125	95	5805.8	8470	12300	16500	20700	24900	29100	33300	37600	41800	46000	50200	54400	58600	62900	67100	71300	75500	79700	83900	88200	92400	96600	100800	105000	109000	113000	117000	121000	126000	130000	
SF-19, 20型 (2~3MPa)	150	105	8654.6	12600	18300	24600	30900	37200	43400	49700	56000	62300	68600	74900	81200	87400	93700	100000	106000	112000	118000	125000	131000	137000	144000	150000	156000	162000	169000	175000	181000	188000	194000	
	115	115	10381.6	15100	22200	29500	37000	44600	52100	59700	67200	74700	82300	89800	97400	104000	112000	120000	127000	135000	142000	150000	157000	165000	172000	180000	187000	195000	202000	210000	218000	225000	233000	

dt : のと部の径 (mm)、A : 吹出し面積 (mm²)

■揚程式

$$Qm=C''K_{dr}PoAK_0\sqrt{\frac{M}{ZT_0}}\dots\dots\dots$$

$C''=27.03, K_{dr}=0.864, M=28.96, Z=1, T_0=293$ $P_0=(\text{設定圧力}\times1.1+0.101) \text{ 又は } (\text{設定圧力}+0.02+0.101) \text{ のうち大きい方}$

呼径 D		設定圧力 MPa	呼径 (mm)																													(kg/h)		
			0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8		2.9	3.0
15	15	18.8	23.3	30.5	44.3	59.4	74.6	89.8	105	120	135	150	165	180	196	211	226	241	256	272	287	302	317	332	347	363	378	393	408	423	439	454	469	
20	20	31.4	39	50.9	74	99.3	124	150	175	200	226	251	276	302	327	352	378	403	429	454	479	505	530	555	581	606	631	657	682	708	733	758	784	
25	25	54.9	68.2	89	129	173	218	262	306	351	395	439	484	528	572	617	661	705	750	794	838	883	927	971	1010	1060	1100	1140	1190	1230	1280	1320	1370	
32	32	80.3	99.8	130	189	254	318	383	448	513	578	643	708	772	837	902	967	1030	1090	1160	1220	1290	1350	1420	1480	1550	1610	1680	1740	1810	1870	1940	2000	
40	40	125.6	156	203	296	397	498	600	701	803	904	1000	1100	1200	1310	1410	1510	1610	1710	1810	1910	2020	2120	2220	2320	2420	2520	2620	2730	2830	2930	3030	3130	
50	50	204.1	253	331	481	645	810	975	1140	1300	1470	1630	1790	1960	2120	2290	2450	2620	2780	2950	3110	3280	3440	3610	3770	3940	4100	4270	4430	4600	4760	4930	5090	
65	65	346.9	431	562	817	1090	1370	1650	1930	2210	2490	2770	3050	3330	3610	3890	4170	4450	4730	5020	5300	5580	5860	6140	6420	6700	6980	7260	7540	7820	8100	8380	8660	
75	75	447.4	556	725	1050	1410	1770	2130	2490	2860	3220	3580	3940	4300	4660	5020	5390	5750	6110	6470	6830	7190	7550	7910	8280	8640	9000	9360	9720	10000	10400	10800	11100	
80	78.4	492.3	611	798	1160	1550	1950	2350	2750	3140	3540	3940	4340																					
100	100	785.0	975	1270	1850	2480	3110	3750	4380	5020	5650	6280	6920	7550	8190	8820	9450	10000	10700	11300	11900	12600	13200	13800	14500	15100	15700	16400	17000	17700	18300	18900	19600	
100	99.4	780.2	969	1260	1830	2460	3090	3720	4350	4980	5610	6240	6870																					
	125	1256.0	1560	2030	2960	3970	4980	6000	7010	8030	9040	10000	11000	12000	13100	14100	15100	16100	17100	18100	19100	20200	21200	22200	23200	24200	25200	26200	27300	28300	29300	30300	31300	
130	130	1347.0	1670	2180	3170	4260	5350	6430	7520	8610	9700	10700	11800																					
150	150	1789.8	2220	2900	4210	5660	7100	8550	10000	11400	12800	14300	15700	17200	18600	20100	21500	23000	24400	25900	27300	28700	30200	31600	33100	34500	36000	37400	38900	40300	41800	43200	44600	
160	160	2009.6	2490	3260	4730	6350	7980	9600	11200	12800	14400	16000	17700																					

D : 弁座口の径 (mm)、A : 吹出し面積 (mm²)

※安全逃し弁 (SL-37~40, 39F, 40F, 43, 44型) については、124頁をご参照ください。

吹出し容量表(ボイラー構造規格)

〈蒸気用〉

■全量式

$$Q_m = 5.25C'K_dP_0 \dots\dots\dots [C' = (P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{TC} = 1) \cdot (P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{TC} = 0.98) \cdot (P_0 \text{が} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{TC} = 0.97) \cdot (P_0 \text{が} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} C = 0.96)]$$
$$[K_d = 0.777, P \text{ (MPa} \cdot A) = (\text{設定圧力} \times 1.03 + 0.101) \text{又は} (\text{設定圧力} + 0.015 + 0.101) \text{のうち大きい方}]$$

型式	口径 mm	設定圧力 MPa		口径 A																			(kg/h)										
		0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1		2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	
SF-1H, 2H型	20	15	176.6	155	227	299	364	434	507	580	653	718	790	862	934	1000	1070	1150	1220														
	25	19	283.3	249	365	480	584	697	814	930	1040	1150	1260	1380	1490	1610	1720	1840	1960														
	30	30	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880														
	40	40	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880														
	50	38	1133.5	998	1460	1920	2330	2790	3250	3720	4190	4610	5070	5530	5990	6450	6920	7380	7840														
SF-19L型 SF-20L型	15	11	94.9	83.6	122	161	195	233	272	311	350	386	424	463	502	540	579	618	656	695	734	764	803	841	879	917	950	990	1030	1070	1100	1140	1180
	20	15	176.6	155	227	299	364	434	507	580	653	718	790	862	934	1000	1070	1150	1220	1290	1360	1420	1490	1560	1630	1700	1770	1850	1920	1990	2060	2130	2200
	25	19	283.3	249	365	480	584	697	814	930	1040	1150	1260	1380	1490	1610	1720	1840	1960	2070	2190	2280	2390	2510	2620	2740	2850	2960	3080	3190	3310	3420	3540
	30	30	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880														
	40	40	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880														
SF-13L, 14L型 SF-13型 SF-16型 (0.1~1MPa)	25	19	283.3	249	365	480	584	697	814	930	1040	1150	1260																				
	30	30	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880	5170	5460	5690	5970	6260	6540	6830	7110	7400	7680	7970	8250	8540	
	40	40	706.5	622	910	1190	1450	1730	2030	2320	2610	2870	3160	3440	3730	4020	4310	4600	4880	5170	5460	5690	5970	6260	6540	6830	7110	7400	7680	7970	8250	8540	
	50	38	1133.5	998	1460	1920	2330	2790	3250	3720	4190	4610	5070	5530	5990	6450	6920	7380	7840	8300	8760	9130	9590	10000	10500	10900	11400	11800	12300	12700	13200	13700	14100
	65	43	1451.4	1270	1870	2460	2990	3570	4170	4760	5360	5900	6490	7080	7670	8260	8860	9450	10000	10600	11200	11600	12200	12800	13400	14000	14600	15200	15700	16300	16900	17500	18100
SF-17L型 SF-18型 (1~2MPa)	49	1884.7	1660	2420	3190	3880	4640	5410	6190	6960	7660	8430	9200	9970	10700	11500	12200	13000	13800	14500	15100	15900	16700	17400	18200	18900	19700	20500	21200	22000	22700	23500	
	55	2374.6	2090	3060	4020	4890	5840	6820	7800	8780	9650	10600	11500	12500	13500	14400	15400	16400	17400	18300	19100	20000	21000	22000	22900	23900	24800	25800	26800	27700	28700	29600	
	61	2920.9	2570	3760	4950	6020	7190	8390	9590	10800	11800	13000	14200	15400	16600	17800	19000	20200	21400	22500	23500	24700	25800	27000	28200	29400	30600	31700	32900	34100	35300	36500	
	69	3737.3	3290	4810	6340	7700	9200	10700	12200	13600	15200	16700	18200	19700	21200	22800	24300	25800	27300	28900	30100	31600	33100	34600	36100	37600	39100	40600	42100	43600	45100	46700	
	100	76	4534.1	3990	5840	7690	9350	11100	13000	14800	16700	18400	20200	22100	23900	25800	27600	29500	31300	33200	35000	36800	38300	40100	42000	43800	45600	47500	49300	51100	53000	54800	56600
SF-19L型 SF-20L型 (2~3MPa)	125	95	5805.8	5110	7480	9850	11900	14200	16600	19000	21400	23600	25900	28300	30700	33000	35400	37800	40100	42500	44900	46700	49100	51400	53800	56100	58400	60800	63100	65500	67800	70200	72500
	105	95	7084.6	6240	9130	12000	14600	17400	20300	23200	26100	28800	31700	34500	37400	40300	43200	46100	49000	51900	54800	57000	59900	62800	65600	68500	71300	74200	77100	79900	82800	85600	88500
	105	8654.6	7620	11100	14600	17800	21300	24800	28400	32000	35200	38700	42200	45700	49300	52800	56300	59800	63400	66900	69700	73200	76700	80200	83700	87200	90800	94100	97600	101000	104000	108000	
	150	115	10381.6	9140	13300	17600	21400	25500	29800	34100	38300	42200	46400	50600	54900	59100	63300	67600	71800	76000	80300	83600	87800	92000	96200	100000	104000	108000	112000	117000	121000	125000	129000
	150	115	10381.6	9140	13300	17600	21400	25500	29800	34100	38300	42200	46400	50600	54900	59100	63300	67600	71800	76000	80300	83600	87800	92000	96200	100000	104000	108000	112000	117000	121000	125000	129000

dt: のど部の径 (mm)、A: 吹出し面積 (mm²)

■揚程式

$$Q_m = 5.25C'K_dP_0 \dots\dots\dots [C' = (P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{TC} = 1) \cdot (P_0 \text{が} 0.5 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{TC} = 0.98) \cdot (P_0 \text{が} 1.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{以下} \text{TC} = 0.97) \cdot (P_0 \text{が} 2.0 \text{MPa} \cdot A \text{を超え} C = 0.96)]$$
$$[K_d = 0.864, P \text{ (MPa} \cdot A) = (\text{設定圧力} \times 1.03 + 0.101) \text{又は} (\text{設定圧力} + 0.015 + 0.101) \text{のうち大きい方}]$$

口径 mm	口径 D	設定圧力 MPa		口径 A																													(kg/h)
		0.05	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0	
15	15	18.8 [*]	14.1	18.4	26.9	35.4	43.1	51.4	60	68.6	77.3	85	93.5	102	110	119	127	136	144	153	161	168	176	185	193	202	210	219	227	235	244	252	261
20	20	31.4 [*]	23.6	30.7	45	59.2	72	85.9	100	114	129	142	156	170	184	198	213	227	241	255	270	281	295	309	323	337	351	365	379	394	408	422	436
25	25	54.9 [*]	41.3	53.7	78.6	103	125	150	175	200	225	248	273	298	322	347	372	397	422	447	472	491	516	541	565	590	615	639	664	688	713	738	762
32	32	80.3	60.4	78.6	115	151	184	219	256	293	330	363	399	435	472	508	545	581	617	654	690	719	755	791	827	863	899	935	971	1000	1040	1070	1110
40	40	125.6	94.5	123	180	237	288	343	401	458	516	568	625	681	738	795	852	909	966	1020	1080	1120	1180	1230	1290	1350	1400	1460	1510	1570	1630	1680	1740
50	50	204.1	153	199	292	385	488	558	652	745	839	923	1010	1100	1200	1290	1380	1470	1570	1660	1750	1820	1920	2010	2100	2190	2280	2370	2460	2560	2650	2740	2830
65	65	346.9	261	339	497	654	795	949	1100	1260	1420	1560	1720	1880	2040	2190	2350	2510	2660	2820	2980	3100	3260	3410	3570	3730	3880	4040	4190	4350	4500	4660	4820
75	75	447.4	336	438	641	844	1020	1220	1420	1630	1830	2020	2220	2420	2630	2830	3030	3240	3440	3640	3840	4000	4210	4410	4610	4810	5010	5210	5410	5610	5810	6010	6210
80	78.4	492.3	370	482	705	928	1120	1340	1570	1790	2020	2220	2440																				
100	100	785.0	591	769	1120	1480	1800	2140	2500	2860	3220	3550	3900	4260	4610	4970	5320	5680	6040	6390	6750	7030	7380	7730	8090	8440	8790	9140	9490	9850	10200	10500	10900
99.4	99.4	780.2	587	764	1110	1470	1780	2130	2490	2850	3200	3520	3880																				
125	125	1256.0	945	1230	1800	2370	2880	3430	4010	4580	5160	5680	6250	6810	7380	7950	8520	9090	9660	10200	10800	11200	11800	12300	12900	13500	14000	14600	15100	15700	16300	16800	17400
130	130	1347.0	1010	1310	1930	2540	3080	3680	4300	4920	5530	6090	6700																				
150	150	1789.8	1340	1750	2560	3370	4100	4900	5720	6530	7350	8090	8900	9710	10500	11300	12100	12900	13700	14500	15300	16000	16800	17600	18400	19200	20000	20800	21600	22400	23200	24000	24800
160	160	2009.6	1510	1960	2880	3790	4600	5500	6420	7340	8260	9080	10000																				

（注）弁座口の径（mm）、A：吹出し面積（mm²）

〈空気用〉

$$W = CKP_1 A \sqrt{\frac{M}{ZT}} \dots \dots \dots \{C=2700, K=0.777, M=28.96, Z=1, T=293\}$$

dt: のど部の径 (cm)、A: 吹出し面積 (cm²)

$$W=CKP_1A\sqrt{\frac{M}{\gamma T}}\left\{\begin{array}{l} C=2700, K=0.87, M=28.96, Z=1, T=293 \\ P_1=(\text{設定圧力}(\text{許容圧力})\times 1.1 \text{の絶対圧力}) \end{array}\right.$$

D: 弁座の径 (cm)、A: 吹出し面積 (cm²)

吹出し容量表 (社内基準)

〈液体用〉
(水・温水を除く)

■全量式

型式

呼径

設定圧力

15

11

15

20

15

20

25

19

25

25

19

25

40

30

40

50

38

50

65

49

65

80

61

80

100

76

100

125

95

125

150

115

150

W=16IAK√PG

(K=0.6

G=1

アキュムレーション15%

A=0.785dt²)

0.1

0.2

0.3

0.4

0.5

0.6

0.7

0.8

0.9

1.0

1.1

1.2

1.3

1.4

1.5

1.6

1.7

1.8

1.9

2.0

2.1

2.2

2.3

2.4

2.5

2.6

2.7

2.8

2.9

3.0

(10³ kg/h)

P：容量決定圧力 (MPa)、dt：のど部の径 (mm) 注. 実際の算式に用いるPは、(P) + (アキュムレーション圧力) – (背圧)の容量決定圧力 (MPa)です。

■揚程式

呼径

設定圧力

15

15

20

20

25

25

32

32

40

40

50

50

65

65

75

75

80

78.4

100

99.4

125

125

150

150

W=16IAK√PG

(K=0.55 (上ガイト式)

G=1

アキュムレーション10%

A=πDL)

0.1

0.2

0.3

0.4

0.5

0.6

0.7

0.8

0.9

1.0

1.1

1.2

1.3

1.4

1.5

1.6

1.7

1.8

1.9

2.0

2.1

2.2

2.3

2.4

2.5

2.6

2.7

2.8

2.9

3.0

(10³ kg/h)

P：容量決定圧力 (MPa)、D：弁座口の径 (mm)、L：リフト (mm)

注1. 係数Kとアキュムレーション及びリフトは、型式により異なります。

注2. 実際の算式に用いるPは、(P) + (アキュムレーション圧力) – (背圧)の容量決定圧力 (MPa)です。

※安全逃し弁 (SL-37~40, 39F, 40F型 (120~122頁)、SL-43, 44型 (123頁)) の吹出し容量は本表の値と異なります。